



誰のことを言っているのかを脳は分からない???

「自分自身が傷つくので、悪口は言わない」の巻

佐渡市立河崎小学校長 濱田晴明

「人にバカとか言わないんだよ。バカと言った人がバカなんだよ・バカになるんだよ。」と、小さい時に大人からよく言われました。「それって本当なの？」と疑問を抱いたのを覚えています。(それなら、「私はキムタクです。」と言っている人はキムタクになるのだから?)

最近の脳科学の研究から、「**脳は、主語を理解できないという性質を持っている。**」ということが分かりました。脳は、主語が理解できないので、自分が発した言葉の全てを自分のこととしてとらえてしまいます。例えば、「〇〇(相手の名前)のバカ!」と言ったとします。「バカ」と言った人の脳は、「**自分がバカだ。**」と判断をします。

「日ごろ悪口を言っている人は、言っていない人より、**認知症に3倍かかりやすい。**」(東フィンランド大学 アンナ・マイヤ・トルパネン博士より)

「**悪口を言うと、脳を攻撃し、それが続くと巨大なストレスとなり、脳をおとろえさせる。最終的には、老化をすすめることになる。**」(中野信子脳神経科学者)

「玉突き事故で怪我をした患者の中で、『事故が起きたきっかけをつくった人の悪口を言い続けた人』と、『事故が起きたことはしかたなく、それよりも怪我を治すことが大事だと考えた人』とでは、**悪口を言い続けた人の方が、怪我は治りにくい。**」(ある外科の話より)



このように、悪口を言うことは、認知症になりやすかったり、また、人より先に老化したり、さらに、怪我が治りにくくなったりするそうです。

ところで、松井秀喜さんをご存知ですか? 元野球選手でニューヨークヤンキースではワールドシリーズでMVPを受賞した人です。長嶋茂雄さんとお二人で国民栄誉賞を受賞された方です。松井秀喜さんは、中学校2年生の時から、**人の悪口を言ったことがない**そうです。中学校2年の時、父親に、友だちの悪口を言ったら、父親が、「人の悪口を言うような下品なことをするんじゃない。今、ここで二度と人の悪口を言わないと約束しなさい。」と言われ、約束し、それ以来ずっと悪口を言っていないそうです。松井選手は、周囲からバッティングフォームが悪いなど、悪口を言われたことがあったとき、**自分も悪口を言いたいと思ったことは山ほどあったのですが、言わなかった**そうです。松井選手のように、悪口を言わない人の周りには、悪口を言わない人が集まります。逆に、悪口を言っている人の周りには、悪口を言う人が集まります。そして、互いに心と体を傷つけています。



上記の話を、全校朝会で、河崎小学校の「自分が人からされて嫌なことはしない・言わない」「良いことをする勇気と悪いことをしない勇気をもつ」と関連して話しました。子どもたちは真剣に話を聞いてくれました。

みなさんはどうですか? 松井選手のような生き方はできますか?(SMA Pの解散問題にあたり、キムタクは、周囲から悪口をさんざん言われました。)私は、人から悪口を言われ、逆に言っしまい、自己嫌悪におちいつたりすることがあります。今後は、人の悪いことよりも良いことに目を向ける人間になり、そして、「濱田はキムタクに似ていないのに似ているとホラをふいている。」と、□□さんが悪口を言っていたようだ。」と言われたら、悪口で言い返さず、「□□さんは、そんな悪口を言う人ではありません。」と言える人間になるように日々修業していきます。

